

新開小学校 国語能力一覧表

C 読むことの力

平成21年度

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。		ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。		ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。		ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。		ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。		ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。	
音読	音読を楽しむ。 正しく行をたどって読むことができる。 言葉のリズムや響きを楽しむ。	音読を楽しむ。 正しく行をたどって読むことができる。 言葉のリズムや響きのよさを楽しむ。	意味のまとまりや場面の様子が分かるように音読する。 聞き手に内容が伝わるように音読する。	意味のまとまりや場面の様子が分かるように音読する。 聞き手に内容が伝わるように音読する。	書き手の意図や自分の思いや考えと合わせて音読する。 一人一人の感じ方や思い、考えなどを大事にしながら、相互に音読し合っ	書き手の意図や自分の思いや考えと合わせて音読する。 一人一人の感じ方や思い、考えなどを大事にしながら、相互に音読し合っ						
効果的な読み方										イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むことなど効果的な読み方を工夫すること。		
説明的な文章の解釈	イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 文章の大体の意味が分かる。 言葉の意味を考えながら読む。 時間や事柄の順序を追いながら読む。 言葉や文のつながりを意識して読む。	イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 文章の大体の意味が分かる。 言葉の働きや意味に関心を持ちながら読む。 時間や事柄の順序をとらえながら読む。 文や文章の順序性やまとまりを意識して読む。	イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。 内容や文章の中心を考えながら読む。 語句の性質や役割を考えながら読む。 指示語・接続語・文末・くりかえし語句などの表現の効果に着目して読む。 段落の要点をまとめる。 段落相互の関係をとらえる。	イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。 内容や文章の中心を考えながら読む。 語句の性質や役割を考えながら読む。 指示語・接続語・文末・くりかえし語句などの表現の効果に着目して読む。 段落の要点をとらえる。 段落相互の関係や事実と意見の関係をとらえ、文章全体の簡単な組み立てに気付く。	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしなが	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしなが						
文学的な文章の解釈	ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 場面の様子を思い浮かべながら読む。 具体的な表現から想像を広げて読む。 登場人物の心情に注意して読む。	ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。 場面の様子を思い浮かべながら読む。 具体的な表現から想像を広げて読む。 登場人物の心情の移り変わりを想像する。	ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。 場面の移り変わりを、叙述を基に読み取る。 会話や行動、様子を表す言葉から豊かに想像しながら読む。 登場人物の行動や会話に即しながら、性格や心情、登場人物同士の関係をとらえる。	ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。 場面の移り変わりを、叙述を基に読み取る。 会話や行動、様子を表す言葉から豊かに想像しながら読む。 登場人物の行動や会話に即しながら、性格や心情、登場人物同士の関係をとらえる。	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。 場面の情景と登場人物の心情とを結びつけて、豊かに想像して読む。 優れた叙述に気付き、自分の考えをまとめる。 登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえる。	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。 場面の情景と登場人物の心情とを結びつけて、豊かに想像して読む。 優れた叙述に気付き、自分の考えをまとめる。 登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえる。						
自分の考えの形成及び交流	エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。 大事な言葉や文を書き抜く。	エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。 大事な言葉や文を書き抜き、感じたことや経験したこと、思ったことや考えたことなどを書き添える。	エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 目的や必要に応じて、話や文章を短くまとめる。 書き抜いたものに、書き足したり書き換えたりして、整理する。	エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 目的や必要に応じて、話や文章を短くまとめる。 書き抜いたものに、書き足したり書き換えたりして、整理する。	オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。 多様な本や文章を読み、目的に応じて報告や推薦などの文章として考えをまとめ、発表し合う。 友達の意見を生かし、自分との共通点・相違点を整理しながら、自分の考えを広げたり深めたりする。	オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。 多様な本や文章を読み、目的に応じて報告や推薦などの文章として考えをまとめ、発表し合う。 友達の意見を生かし、自分との共通点・相違点を整理しながら、自分の考えを広げたり深めたりする。						
目的に応じた読書	オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。 経験と文章の内容とを結び付けながら読み、自分の思いや考えを表現する。 共感的な態度で、友達の思いや考えなどにふれる。	オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。 経験と文章の内容とを結び付けながら読み、自分の思いや考えを表現する。 共感的な態度で、友達の思いや考えなどにふれる。	カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。 多様な目的に応じて、いろいろな分野の本や文章を内容や作者に絞って読む。 図書館等を利用し、読書生活を豊かにする。 民話や童話・科学読み物などいろいろなジャンルの読み物を読む。	カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。 多様な目的に応じて、いろいろな分野の本や文章を内容や作者に絞って読む。 図書館等を利用し、読書生活を豊かにする。 詩や説明文などさらにジャンルを広げる。	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。 多様な目的に応じて、複数の本や文章を選んで読む。 知識や情報を得るために様々な資料や図書館、資料館、博物館等の社会教育施設を活用する。 新聞やパンフレット・伝記などの図書資料やインターネットのホームページなどを活用する。	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。 多様な目的に応じて、複数の本や文章を選んで読む。 知識や情報を得るために様々な資料や図書館、資料館、博物館等の社会教育施設を活用する。 新聞やパンフレット・伝記などの図書資料やインターネットのホームページなどを活用する。						